

大学院会計研究科 宮本勝浩教授が推定 「くいだおれ人形」の経済波及効果は約17億円

このたび関西大学大学院会計研究科の宮本勝浩教授が、くいだおれ人形の経済効果を推定しました。

これは、宮本教授が本年3月から、くいだおれ人形で有名な大阪ミナミ・道頓堀の食堂「大阪名物くいだおれ」に来たお客さんや大阪ミナミを訪れる観光客を対象に聞き取り調査を行い分析したもので、人形が食堂と戎橋筋商店街に与える経済波及効果を推定しています。

宮本教授は報告書の中で、くいだおれ人形が食堂と商店街に与える経済波及効果について、少なくとも約16億7,025万円と推定しており、本年7月8日に「大阪名物くいだおれ」が閉店することになったことを受け、「大阪ミナミの経済にとって、多大な効果を及ぼすくいだおれ人形がなくなることは大きな損失であり、なんとか人形の存続を願いたい」と述べています。

分析結果については、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

- 1 テーマ 「くいだおれ人形の経済効果」
- 2 発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
- 3 発表日 2008年4月9日
- 4 内容
 - (1) 第1章 「大阪名物くいだおれ」の閉店
 - (2) 第2章 「くいだおれ人形」の食堂「大阪名物くいだおれ」店に与える経済効果
 - (3) 第3章 「くいだおれ人形」の戎橋筋商店街に与える経済効果
 - (4) 第4章 まとめ

以上

なお、分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨を付記していただきますようよろしくお願いいたします。

【この件に関するお問合せ先】
関西大学 広報室広報課 / 鶴丸、北谷
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266
<http://www.kansai-u.ac.jp>